

算数・数学クリニック

「算数・数学クリニック」では本学周辺地域で算数・数学の学習につまずいている子どもたちへ学習支援を行っています。来訪する子どもたちを指導するスタッフは、穴田准教授と教育学科の学生たちです。開設以来、参加した子どもたちの延べ人数も2,500名に届こうとしています。

今年度の活動シーンを一つ紹介します。算数・数学クリニックに通い始めて2か月程経った小学2年生の男の子に、おはじきをその個数を知らせずに20個渡し、いくつあるか数えてもらうことにしました。ところが、数えた結果が11個だったり、22個だったり、なかなかきまりません。数えるたびに違った答えが返ってきます。実はそれまで、20個くらいあるものを数えた経験がなかったからでした。その日は「に、し、ろ、は、と」の数え方を学び、33個のおはじきを数えることができるまでで学習を終えました。1週間後、同じように個数を知らせずに38個を渡すと「に、し、ろ、は、と」で10ずつまとめながら、さいごに残った8とで38個と答えてくれました。「に、し、ろ、は、と」で数えるとき、10個ずつまとめていたことを褒めると「そうじゃないと、数えにくい」、「10が3つで30。ばらが8で、それ合わせて38」としっかりとした説明が返ってきました。私たちスタッフは、答えの「38」を出すこと以上にしっかりとその説明できることが大事だと考えています。

「算数・数学クリニック」は、参加した子どもたちにとって、時間がかかっても自分なりの理解をして自分のものにしていく場となっています。2024年度は毎週水曜日の15:40～18:40に計24回開催し、参加した子どもたちの延べ人数は47名で、参加した学生の延べ人数は67名でした。そして現在、参加したい小学生を募集しています。ぜひ大学までお問い合わせください。

担当者 教育学科 穴田恭輔 准教授 **対 象** 大学周辺地域の児童

主催等 神戸女子大学 文学部 教育学科 穴田研究室

実施日 2024年4月10日(水)～2025年1月15日(水) 全24回

場 所 神戸女子大学 須磨キャンパスM館 M315教室

参加学生数 延べ67名



具体物を数える



学習風景



10までの数の分解



お金の等価をつくる